



「わかりやすい健康に関する情報講座」

令和2年10月16日、北海道江別保健所の職員を講師に招き、感染症をテーマとした情報講座を開催しました。(詳細は特集2でご紹介します。)

目次

- ▶ 特集1 「国立アイヌ民族博物館等との
連携によるアイヌ文化の普及に向けた取組」・・・1～3
- ▶ 特集2 「わかりやすい健康に関する情報講座」・・・4
- ▶ 特集3 「雑誌スポンサー制度について 図書館で企業をPR！」・・・5
- ▶ 図書館紹介「タンチョウと酪農の里の図書館」(鶴居村図書館)・・・6～7
- ▶ 活動報告
 - 「館内イベント」・・・8～9
 - 「連携事業」・・・10～11
 - 「展示を振り返って」・・・12～14
 - 「研修事業」・・・15～17
- ▶ 令和2年度(2020年度)北海道立図書館協議会・・・18
- ▶ 令和2年度(2020年度)
 - 全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰・・・19
- ▶ 令和2年度(2020年度)下半期の事業一覧・・・20
- ▶ 令和3年度(2021年度)事業計画・・・21
- ▶ 掲示板・・・22

国立アイヌ民族博物館等との連携による アイヌ文化の普及に向けた取組

国立アイヌ民族博物館における「知里幸恵ノート」の展示

令和2年7月12日、民族共生象徴空間ウポポイがオープンしました。

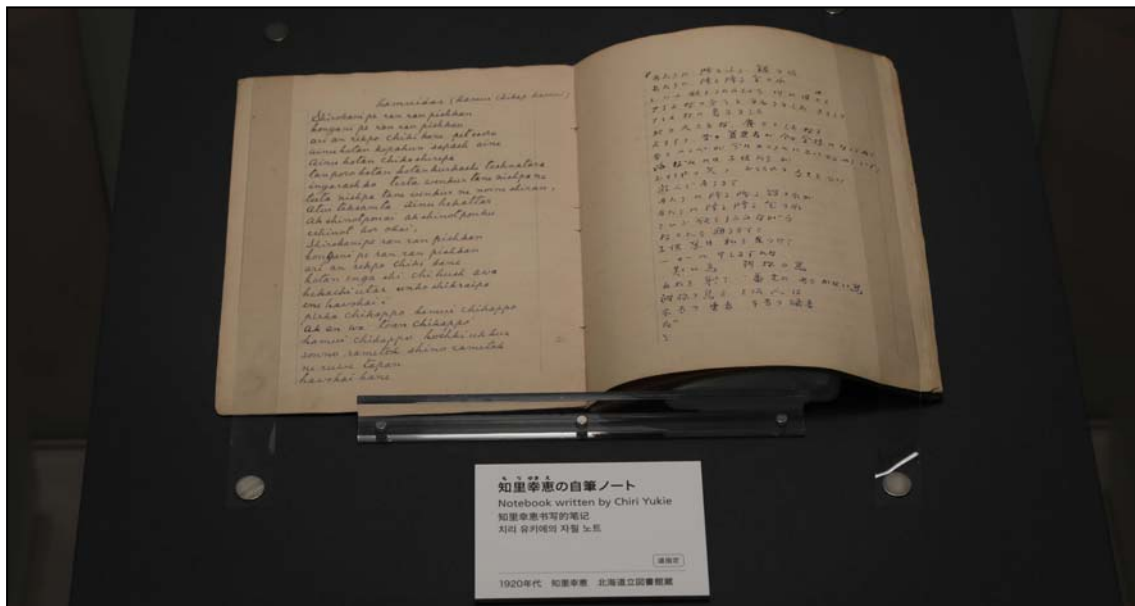
ウポポイの中核的施設のひとつである国立アイヌ民族博物館では、基本展示室の「イタク〜私たちのことば」コーナーにおけるシンボリックな資料として、当館が所蔵する北海道指定有形文化財「知里幸恵ノート（以下「ノート」といいます。）」4冊のうち、1冊目が6月の内覧会期間中とオープンから8月16日まで、3冊目についても11月3日から2月28日まで展示されました。

ノートは、知里幸恵（明治36年（1903年）～大正11年（1922年））が、祖母や伯母から聞いたアイヌの口承文芸をローマ字で書き表したもので、一般公開は今回が初めてです。

また、当館においても、ウポポイ開設に合わせ、4月1日から9月29日まで、展示「知里幸恵ノート〜19年の生涯をかけた偉業」で、知里幸恵の生い立ちやノートの内容等について紹介しました。



知里幸恵ノートの展示



知里幸恵ノート（1冊目）
写真：国立アイヌ民族博物館撮影

講演会 「知里幸恵ノート」と『アイヌ神謡集』

■ 日 時：令和2年（2020年）10月18日（日）14：00～16：00

■ 会 場：研修室

■ 内 容：

国立アイヌ民族博物館や当館においてノート等が紹介されたこの機会に、道民がより深くアイヌ文化に親しむとともに、ウポポイへの興味・関心が一層高まるよう、当館では、国立アイヌ民族博物館でノートの展示に携わっている矢崎春菜学芸員を講師に迎え、講演会を開催しました。



矢崎春菜学芸員

アイヌ語やアイヌ民族の口承文芸が専門である矢崎学芸員は、講演の冒頭、アイヌ語で挨拶し、次に、今語ったアイヌ語の読みをローマ字で書き表したものをスライドで示しながらその意味を説明しました。



挨拶の読みや意味を説明しました

続いて、国立アイヌ民族博物館における展示の様子と関連づけながら知里幸恵の生涯やノートの内容を年表などを用いてわかりやすく解説しました。

講演の後半では、北海道各地の多数の神謡を、特に、5つの神謡については、実際に謡って紹介し、アイヌとカムイ（神）の物語や、「サケヘ」と呼ばれる繰り返しの文句などについて詳しく解説しました。参加者は神謡を生で聞きながら、「サケヘ」がメロディーの中でどのように表れるのかなどを体感し、一步踏み込んだアイヌ語や神謡の世界を楽しんでいたようでした。

また、休憩時間には、会場後部に展示した参考資料を手にとって読む参加者も多数見られました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者の定員を大幅に縮小しての開催となりましたが、20歳代から70歳代まで幅広い年代の18名が参加し、質疑応答も含め、終始熱気にあふれていました。

アンケートでも、「神謡を実際に聞くことができたのがよかった」、「アイヌ民族の口承文芸を体系的に知ることができた」、「サケへのことを知ることができた」、「わかりやすい語り口で理解が容易だった」などの感想が多数寄せられ、好評のうちに終了しました。



会場の様子～ディスタンスをとって着席していただきました

なお、当館では、アイヌ文化に親しむ取組として、上記の講演会と合わせて、北海道博物館との連携による次の講座を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の患者数の増加等を踏まえ、中止することとしました。

- 開催予定日：令和2年（2020年）12月5日（土）
- 講座名：利用講座 映像によみがえる北海道
- 講師：奥田 統己 様

（北海道博物館アイヌ民族文化研究センター非常勤研究員、札幌学院大学教授）

（北方資料サービス課）

わかりやすい健康に関する情報講座

令和2年10月16日、好評だった昨年度に引き続き、北海道江別保健所との連携講座第2弾「わかりやすい健康に関する情報講座」を開催し、21名が参加しました。

■ 日 時：令和2年（2020年）10月16日（金）14:00～16:00

■ 会 場：研修室

■ 内 容：

ミニ講座「本やインターネットで健康情報を調べよう！本の探し方 ～感染症関係を例にして～」

道立図書館利用サービス部一般資料サービス課主任 畑中 ゆい

講演「感染症から身を守ろう！！～もらわない・うつさない・ひろげない～」

コミュニケーションタイム

北海道江別保健所保健師 尾形 帆南 様

〃 保健師 丸山 晃子 様

今回は、冬季にかけて感染力が強くなる新型コロナウイルスやインフルエンザ、ノロウイルス等による感染症をテーマに、北海道江別保健所から講師をお迎えし、予防医学の観点からお話をいただきました。



講座では、まず、当館職員が健康情報の調べ方を紹介するミニ講座を行い、続いて、江別保

健所の保健師お二人から、ウイルスの特徴や予防法等について、実演を交えてお話しいたきました。後半のコミュニケーションタイムでは、感染によるメンタル面での不安や偏見について、自分や身近な人が新型コロナウイルスに感染した場合を想定し、グループで話し合いました。

時節柄、新型コロナウイルスへの参加者の関心が高く、コミュニケーションタイムや質疑応答は活気あるものとなりました。アンケートも好評で、盛況の内に終了しました。



(一般資料サービス課)

雑誌スポンサー制度について 図書館で企業をPR！

当館の閲覧室にある雑誌書架、その中にひととき目立つ「スポンサー寄贈雑誌」コーナーがあります。今年度から開始した雑誌スポンサー制度。現在、スポンサーを受けていただいた北菓楼、わかさいも本舗、富士メガネの3社からそれぞれ『スポーツグラフィック ナンバー』、『婦人画報』、『健康』、『NHK 今日の健康』の4誌を寄贈いただいています。どれも人気雑誌で、いつも誰かが手にして閲覧している状態です。雑誌には表紙の部分にスポンサー企業の紹介を、そして裏面は全体を使って主力商品の宣伝や企業のイメージ戦略など、自由にお使いいただくことができます。

また、当館ホームページにバナーを設けて、スポンサー企業のホームページにもリンクしています。資料検索などで図書館のホームページを訪れた方に、スポンサー企業の情報を届けるチャンスです。

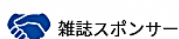
商品の売り上げに、そして「図書館を支援する企業」として文化的な企業イメージのアップにと広告効果バツグンの

「雑誌スポンサー制度」。年間を通じてスポンサーを募集しています。

詳細については、利用サービス部一般資料室資料整備課へ直接お問い合わせいただくか、図書館ホームページにある「雑誌スポンサー」のページをご覧ください。



表紙の下部と裏面全体に、企業広告を載せることができます。『ナンバー』2020年11月19日号の特集は「ダルビッシュ進化論」。大人気で、閲覧順番待ちでした。



←こんなバナーがあります。まずはここを「ポチッと」な…」と

(資料整備課)

タンチョウと酪農の里の図書館

鶴居村図書館 館長 佐藤 恵治

鶴居村は釧路管内のほぼ中央に位置し、国の特別天然記念物タンチョウが数多く生息する、酪農を基幹産業とする人口2,500人ほどの小さな村です。鶴居市街を縦断する道道53号線から役場を背にして東に少し行くと村の生涯学習施設ふるさと情報館「みなくる」があり、その中に鶴居村図書館があります。平成31年4月1日に「図書室」から条例化により「図書館」に昇格したばかりの図書館です。

ふるさと情報館「みなくる」は平成11年11月に竣工し教育委員会事務局が移転、同年12月23日には図書室が先行オープンし、翌12年4月1日に全館が正式オープンしました。構造は鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造、敷地面積9,185平方メートル、建築面積2,867平方メートル、延床面積2,681.74平方メートルの施設です。屋外にはアスレチック遊具を設置しており、噴水や浅い水路など水辺空間のあるプロムナードも隣接しています。



鶴居村ふるさと情報館「みなくる」外観 右側は北海道遺産「軌道」車両

館内は、図書館のほかに、誰でも気軽に憩える場として広く開放的に設計されており、天井はタンチョウの羽ばたく様子がデザインされているエントランスホール。村の歴史や基幹産業である酪農、タンチョウや釧路湿原等の郷土資料をジオラマや立体映像を使い、遊びながら学べるよう展示している常設展示室。自由活動のスペースで、卓球、バドミントンなどもでき、目的に応じた利用が可能な多目的ホール。収容人数約50人、大型スクリーンでハイビジョン映像を視聴することができる映像ホールがあり、これら全てを図書館において一体的な管理を行っています。

鶴居村図書館は、延床面積493.63平方メートルの空間に約5万冊の蔵書を保有しており、閉架書庫内にも約2万冊の蔵書があります。当図書館にお目当ての本があるかどうか、自宅にしながら確認できるインターネット図書検索システムも導入しています。図書貸出カウンター前のスペ

ースには、毎月テーマを設定しデコレーションを施した「おすすめ本コーナー」を設置しています。「お話コーナー」は広めのガラス窓付き個室です。幼児や小学生向けの絵本や、しかけ絵本などがあり、落ち着いて本を読み聞かせることができます。トイレも部屋のすぐそばにあり、小さなお子様連れでも安心してくつろぐことができます。



図書館入口

その他、「コンピュータコーナー」ではインターネットでホームページを閲覧したり最新の情報を検索したり、さまざまな情報にアクセスすることができます。「AVコーナー」ではCDやDVDで音楽や映画を楽しむことができます。現在CDは約3千枚、DVDは約2千枚あります。

また、例年10月末には読書週間に合わせて「図書館まつり」を開催し、除籍した図書や雑誌を無料提供する古本市、絵本・紙芝居のお話を実施。4月末から子ども読書週間、ゴールデンウィークには、アニメ映画等を上映する「子ども映画会」を開催していますが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「子ども映画会」は中止、「図書館まつり」は「児童生徒作品展」に変更して、2週間にわたり児童生徒の絵画や習字を展示しました。

新型コロナウイルス感染症が国内、世界中で猛威を振るう中、当図書館においても、こまめな消毒や換気、ソーシャルディスタンスの徹底、アクリル板や図書滅菌機の設置等、当館に安心して来館いただけるよう、できる限りの対策に努めており、今後もこれを通常のスタイルとして実施継続してまいります。



図書館内（令和2年12月撮影）

公立図書館は、乳幼児から高齢者まで、住民すべての自己教育に資するとともに、住民が情報を入手し、芸術や文学を鑑賞し、地域文化の創造にかかわる場です。道内各公立図書館が実施されている取組みなどを参考にさせていただきながら、当図書館においてもサービスを充実させ、鶴居村の情報発信基地として、地域住民をはじめご来館いただいた皆様へ必要な情報と空間の提供を通じて、親しみ愛される図書館を目指してまいります。鶴居村へお越しの際は是非「鶴居村図書館」にお立ち寄りください。

館内イベント

子ども向け書庫ツアー「図書館のひみつをさがせ！」

- 日 時：令和2年（2020年）8月13日（木）14：00～15：30
- 会 場：研修室、第一書庫、第二書庫、北方資料室書庫
- 参加人数：7名
- 内 容：

「図書館のひみつをさがせ！」と題して、小学生の夏休み期間に合わせて、親子3組7名の方にご参加いただきました。

最初に研修室で読みたい本を探すための方法について基本的な説明をして、館内紹介DVDの視聴やエプロンシアターの紹介の後、普段は入ることができない館内各所を案内しました。

ツアーに当たっては、各所にキーワード（全てのキーワードがそろると「ぼうけん」となる）を配置し、道立図書館に興味や親しみを持てるようにしました。新型コロナウイルス感染防止のため定員を例年の半分に減らし、マスク着用等の対策を行った上で実施しました。

終了後のアンケートでは「図書館の普段入れない部屋にも本がある」、「貴重な資料が見られて良かった」、「またこのようなイベントがあったら参加したい」等の感想をいただきました。



第二書庫1層で昭和期の児童雑誌等を紹介

書庫ツアー「映画への誘い」

令和2年11月11日（水）に開催を予定していた、20世紀の映画分野の資料を紹介する書庫ツアー「映画への誘い」は、開催日の前の週に新型コロナウイルスの感染者が道内で増大して1日に100人を超える状況となっていたことからやむなく中止を決定しました。

ツアーで紹介するために準備していた資料の一部は、当館SNSで紹介しました。



映画を漫画化した本

書庫ツアーで紹介予定だった資料（一部）

（一般資料サービス課）

講演会・資料で語る北海道の歴史（第21回）

「江戸時代の輸出品ロード—北海道発（長崎・沖縄経由）中国行—」

■ 日 時：令和2年（2020年）10月24日（土）14：00～16：00

■ 会 場：研修室

■ 内 容：

北方資料室では、北海道史の専門家の講演を通じて、図書館などが所蔵する地域資料を深く知り、広く活用するきっかけとなるよう、毎年講演会を開催しています。今回も北海道史研究協議会の協力の下、同協議会の監事で小樽市総合博物館学芸員の菅原慶郎様を講師に迎えて、江戸時代に幕府は長崎を通して清国（中国）との交易を行っており、薩摩藩もまた琉球（沖縄）を通して清国（中国）と交易があったことを背景に、コンブ、ナマコ、アワビ、ラッコ（毛皮）など、豊かで質の高い海産物等を有した蝦夷地は、商品の生産地となったこと、その生産活動にはアイヌ民族が関わっていたことについてお話をうかがいました。海産物の産地や、漁や採取の方法、商品の価格などについては、当時の文献や絵画の画像をスライドで見ながら解説していただきました。

今年は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、参加者の席を離し、定員を20名に抑えて実施し、当日は19名が参加しました。



ナマコ、アワビの生産について解説



菅原慶郎学芸員

会場後部に設けた講演に関連する当館所蔵資料展示コーナーでは、休憩時間中に、スライドで紹介された江戸時代の文献や絵画が掲載されている図書を熱心に読む参加者の姿も見られ、歴史的に貴重な資料も出版物などの形で図書館で見ることができると感じていただけたようでした。

終了後のアンケートでは、「松前や蝦夷地で収穫された産品について、生産地や生産者のほか、運搬についてもよくわかった」、「ナマコやアワビの価値や獣皮の数量について理解できた」、「アイヌ民族とのかかわりについてもわかった」などの感想が寄せられ、好評でした。

（北方資料サービス課）

連携事業

【道立図書館・道立近代美術館連携展示】

道立近代美術館が開催する展覧会にあわせ、同館の館内に当館の蔵書を紹介するコーナーを設置しています。

上半期に引き続き、「没後50年 神田日勝 大地への筆触 ここを描く、ここで生きる」、「デビュー50周年記念 諸星大二郎展 異界への扉」、「藤沢市所蔵 招き猫亭コレクション 猫まみれ展MAX」、それぞれの展覧会に関連する図書や雑誌等の資料を展示し、展覧会をご覧になった方々に手に取っていただきました。



神田日勝展 展示の様子

【道議会図書室・道立図書館連携展示】

道議会図書室との連携事業のひとつとして、毎回異なるテーマを設けて当館と議会図書室双方の蔵書から興味深い資料を持ち寄り、道議会図書室の閲覧室に設けた特設のコーナーで紹介するテーマ展示を年に数回行っています。

今年度は、新しくなった議会庁舎に移転した議会図書室において「議員提案政策条例」（6月）に続き、第2弾となる「北海道と食」（9～10月）、そして「感染症を知る」（11～12月）を開催しました。



新議会庁舎



新議会庁舎に移転した道議会図書室

○「北海道と食」

期 間：9月8日（火）～10月2日（金）

豊かで多様な自然に恵まれた北海道ならではの魅力あふれる「食」をテーマにした展示を行いました。

海外からも注目される道産食品や地域住民に愛されるご当地グルメ、食のブランド化、学校給食と地域文化、食育、食による地域おこしやツーリズムなど、様々な分野に関わる資料を選び、道議会図書室の蔵書とあわせて約70冊の資料を紹介しました。



「北海道と食」

○「感染症を知る」

期 間：11月25日（水）～12月18日（金）

感染症の流行を受け、「感染症を知る」をテーマに、新型コロナウイルスをはじめとして、インフルエンザや風邪などの感染症の歴史、予防法、ウイルスのしくみなど道議会図書室の蔵書と合わせて、約70冊の資料を展示しました。

また、職員が作成した「感染症」についての調べ方ガイド（パスファインダー）もあわせて紹介しました。



「感染症を知る」

（一般資料サービス課・北方資料サービス課）

展示を振り返って

【一般資料閲覧室】

○「古典の世界へタイムスリップ」

期 間：10月1日（木）～11月26日（木）

11月1日は「古典の日」です。「古典の日」は文学や音楽をはじめとする日本の古典芸術に親しむ機会として広く浸透させることを目的とし、2012年に日本の記念日として制定されました。このことにちなみ、源氏物語をはじめとする古典文学作品、日本の古典芸術に関する本のうち、入門者向けの本を中心に展示しました。

○「変える！働き方 ～過労死等防止啓発月間特別展示～」

期 間：11月15日（日）～29日（日）

11月の「過労死等防止啓発月間」にちなみ、働き方を変えるヒントになる資料を展示しました。コロナ禍の今求められる、テレワークなどの図書や、令和2年4月から施行された働き方改革関連法についてわかりやすく書かれた図書・雑誌なども並べ、関心をもって手に取っていただきました。

また、資料リストは、この展示期間中に開催された「過労死等防止対策推進シンポジウム」(厚生労働省主催 11月27日 ホテルポールスター札幌) の会場でも配置しました。



○「おうち時間を豊かに」

期 間：11月28日（土）～1月28日（木）

自宅にいても気軽にできるハンドメイドや体力づくりの本、世界の絶景を楽しめる写真集、旅行気分が味わえる本、気分が晴れる小説のほか、家族で一緒に楽しめる遊びの本などを展示しました。



○「科学道100冊」

期 間：11月28日（土）～1月28日（木）

理化学研究所と編集工学研究所が科学者の生き方・考え方、科学の面白さ・素晴らしさを伝える本を紹介した「科学道100冊」をもとに、当館所蔵の本を展示しました。

○「見直そう！災害対策」

期 間：1月30日（土）～3月30日（火）

今年の3月11日で東日本大震災から10年を迎えることにちなみ、地震や防災・減災についての本を中心に災害関連本を展示しました。

【えほんコーナー】

○「あかちゃん ～あたらしい生命、あたらしい世界～」

期 間：8月29日（土）～10月29日（木）

赤ちゃんが生まれるまでお母さんや家族はどう過ごすのか、赤ちゃんが生まれると上の子は何を思うのかなど、様々な赤ちゃんを描いた物語や、動物の赤ちゃんたちの世界を楽しむことができる絵本を展示しました。



○「冬をたのしく」

期 間：10月31日（土）～12月24日（木）

寒くて長～い北海道の冬ですが、あたたかいおうちの中で過ごしたり、雪あそびやそりすべりなど、冬ならではの楽しみがたくさんあります。おうちでの読書時間でも冬を感じることができるよう、冬をテーマにした絵本を展示しました。



○「賞をとった絵本」

期 間：12月26日（土）～2月28日（日）

1年間に日本で出版された絵本の中から、優れた絵本におくられる「日本絵本賞」のほか、世界三大絵本賞といわれる「国際アンデルセン賞」、「コールデコット賞」、「ケイト・グリーンナウェイ賞」を受賞した絵本を展示しました。
(一般資料サービス課)

【一般資料閲覧室北方資料展示コーナー】

○「北海道のカルタ」

期 間：10月1日（木）～12月24日（木）

当館が所蔵する北海道に関するカルタ約40点の中から、ふるさとの自然、歴史、産業、名産品、偉人や景勝地、公共施設などが織り込まれた郷土カルタを中心に、25点を展示しました。

「郷土カルタ」は、遊びを通して郷土の歴史や文化を知る手掛かりになる手軽な遊具であり、資料ともなります。地元の郷土史に詳しい専門家が作成に携わったものや、地元ゆかりのある作家が取札



「十勝ふるさとカルタ」

(絵札) を作成したカルタがある一方で、読み句を住民から募集したもの、取札の絵を地元の高校生が描いたものなどもあります。わがまちの魅力を短い言葉や一枚の絵に凝縮して表現する工夫や苦勞が感じられ、どのカルタにも深い味わいを感じられます。また、地元で盛んな酪農や雪中キャベツに焦点を当てたカルタや、エコロジーを意識しながら北国の暮らしを暖かく過ごすヒントをカルタで紹介するものもあり、実に多彩です。

この味わい深さや多彩さを楽しんでいただくため、半月ごと計6回、4点ずつ（5点展示した回も1回ありました）カルタを入れ替えました。



「くしろふるさとかるた」

カルタの入替予定を展示リストやポスターでお知らせするとともに、展示替えのたびにtwitterやFacebookに投稿したこともあり、来館者から「生まれ故郷のカルタが展示されるのを心待ちにしている」との感想が寄せられたり、若い方から「地域を知る資料は、本だけではないのですね」と声をかけていただいたりするなど、大変好評でした。

(北方資料サービス課)

研修事業

【令和2年度（2020年度）全道図書館新任職員研修会】

例年6月に開催していますが、10月に延期し、札幌市教育文化会館研修室において、受講者に検温、消毒、マスク着用、長机一つにつき1名の着席等にご協力いただきつつ開催しました。図書館（室）での勤務が2年以上の職員も含む53名が参加し、10月という勤務のなかで様々な疑問や不安が生じている時期でもあり、情報交換の時間は話がはずんでいました。

間隔をあける席配置のため、後部座席の方は受講の際に不便もあったかと思います。今後、感染症対策が必要な中で、当館としても研修運営によりいっそうの工夫が必要であるとわかる機会にもなりました。

- 期 日：令和2年（2020年）
10月8日（木）～9日（金）

- 会 場：札幌市教育文化会館

- 参加人数：53名

- 内 容：

[1日目]

講義「公立図書館入門」

道立図書館利用サービス部一般資料室長
桑原 裕子

講義「カウンターの仕事」

湧別町中湧別図書館主査
北村 公樹 様

情報交換「お互いの図書館を知ろう」

道立図書館総務企画部企画支援課主任
木村 啓

[2日目]

講義「図書館サービスと著作権」

道立図書館利用サービス部北方資料室
北方資料サービス課主任 國安 華子

講義「選書・収集について」

芽室町図書館図書館長兼図書館係長
藤澤 英樹 様

講義「児童サービスについて」

広尾町立図書館係長 三崎 奈美子 様

講義「道立図書館活用術」

道立図書館利用サービス部一般資料室一般資料サービス課主任 藤田 さやか



席の間隔を空けて受講



情報交換で話し合ったことを発表

■ 事後アンケートから

- ・図書館について基本的なことの再確認や、新人として不足していた部分を勉強できました。
- ・知っていたこと、知らなかったことに関わらず発見があり、今後に活かせそうなことの多い時間でした。
- ・仕事に対する気持ちが変わりました。
- ・他の職種の方、校種の方とも交流できてよかったです。

【令和2年度（2020年度）全道図書館専門研修】

全道図書館専門研修は、図書館運営に関する特定のテーマについてスキルアップを目指すもので、毎年度、異なる4テーマを設定し地方開催もしながら実施しているものです。今年度は、〈子ども読書（学校支援）〉（10月22日 北見市）、〈経営（企画・広報）〉（11月26日 岩見沢市）、〈サービス（レファレンス）〉（12月10～11日 札幌市）、〈サービス（資料保存）〉（1月15日 札幌市）の4つのテーマによる開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染者の増加状況を踏まえ、〈経営（企画・広報）〉と〈サービス（資料保存）〉の2つは中止し、サービス（レファレンス）は、Zoomを用いたオンライン開催へと開催方法を変更して実施しました。

ここでは、当初の予定どおりの日程及び開催地で、会場についてはディスタンスを取ることができる北見経済センターに変更して開催した〈子ども読書（学校支援）〉の専門研修の概要を紹介します。

全道図書館専門研修〈子ども読書（学校支援）〉

新しい学習指導要領が小学校で全面实施され、学校図書館の役割が一層期待されており、それを最大限に発揮するための学校図書館の環境整備や担当者間の連携の重要性が高まっています。

本研修では、学校図書館について理解を深め、公立図書館（公民館図書室等）から学校図書館に対して必要な支援の方法や、学校司書に必要なスキルを学びました。

講義では、児童生徒の情報リテラシーを育てる学校図書館の活用についての理解を深め、学校支援のポイントをお話いただきました。

事例紹介では、公立図書館司書の立場から、斜里町の学校図書館支援センターにおける町立図書館を中心としたネットワーク化された学校支援の事例を紹介いただきました。また、学校司書の立場からは、網走市内の中学校における、生徒や教職員をまるごと図書館へ惹き込む取組事例をご紹介いただきました。



講義「子どもたちの『知りたい』・『学びたい』に応える学校図書館」



事例紹介②「学校司書が行う学校支援事例
～学校まるごと惹き込むアイデア色々～」

ビブリオバトルの演習では、4人のバトラーの方におすすめする本を発表していただき、一番読みたくなった本を選ぶ取組に、会場が一体となり行うことができました。

感染拡大防止のため、マスクやビニールの衝立ごしの研修となりましたが、それでも生の声で発表を聞き、ライブ感を味わえる良さを実感した研修となりました。



演習「図書館 de ビブリオバトル」

■ 日 時：

令和2年（2020年）10月22日（木）10：30～15：50

■ 会 場：北見経済センター

■ 参加人数：34名

■ 内 容：

講義「子どもたちの『知りたい』・『学びたい』に応える学校図書館」

（公社）全国学校図書館協議会学校図書館スーパーバイザー 野村 邦重 様

事例紹介①「図書館が行う学校支援の事例」 斜里町立図書館奉仕係主事 宮島 舞子 様

事例紹介②「学校司書が行う学校支援事例～学校まるごと惹き込むアイデア色々～」

網走市学校図書館司書 浜田 冴子 様

演習「図書館 de ビブリオバトル」

道立図書館総務企画部企画支援課企画主幹（子ども読書）伊藤 嘉奈子

※ 研修終了後、希望者による北見市立中央図書館の見学も行いました。

■ 事後アンケートから

- ・公共図書館が学校図書館と連携・協力することの大切さを十分理解できました。
- ・学校図書館の実情について知る機会があまりなかったので、実際に何をやっているのか、子どもたちとどう関わっているのかを知ることができて良かったです。
- ・斜里、網走それぞれに、思いのこもった熱い発表から、伝わるヒントがたくさんありました。
- ・ビブリオバトルを初めて見ましたが、人に本をすすめてもらう面白さを体験できました。

（企画支援課）

令和2年度（2020年度）北海道立図書館協議会

今年度の協議会は、次のとおり開催しました。

- ・ 第1回 令和2年（2020年）7月30日（木）
北海道立図書館研修室 出席委員 8名

議 題 令和元年度業務実績報告について

その他 新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応について
令和元年度の施設整備について
市町村立図書館等活動支援誌 あけぼのつうしんNo. 70
市町村立図書館等活動支援誌 あけぼのつうしんNo. 71
北海道議会図書室 6月新着図書のご案内
北海道立図書館パスファインダーNo. 31
北海道立図書館子ども向けパスファインダー
知里幸恵展示「知里幸恵ノート 19年の生涯をかけた偉業」

- ・ 第2回 令和2年（2020年）12月2日（水）開催中止
※道内における新型コロナウイルス感染拡大のため
- ・ 第3回 令和3年（2021年）3月 開催予定

■ 今年度は図書館協議会委員の改選期で、令和2年11月から2年間の任期として、各関係団体等の推薦及び公募により10名の委員が就任しました。

今回の改選により、5名の委員が新しく就任し、女性の委員は4名となりました。

■ 協議会に関する情報をホームページに掲載していますので、是非、ご覧ください。

[道立図書館ホームページトップページ](#)>[道立図書館とは](#)>[北海道立図書館協議会](#)

ホームページアドレス：<https://www.library.pref.hokkaido.jp/>

(管理課)

令和2年度（2020年度）
全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰

北海道読書推進運動協議会

（公社）読書推進運動協議会では、「読書週間」事業のひとつとして、全国優良読書グループ表彰を実施しています。北海道読書推進運動協議会においては、全国表彰への推薦と併せて独自に北海道表彰を行っており、今年度は次のとおり受賞が決定しました。

■ 全国表彰（1団体）

- ・リーディング倶楽部たんぽぽ
湧別町 平成10年設立

■ 北海道表彰 本賞（5団体）

- ・よみきかせサークル「ノンタン」
富良野市 昭和63年設立
- ・おはなしの会ピッピ 東川町 平成8年設立
- ・読み聞かせグループ「おはなし会 ぼっかぼか」 初山別村 平成16年設立
- ・森のお話ふくろう 大空町 平成8年設立
- ・釧路市点訳奉仕はなあかり会 釧路市 昭和53年設立

■ 北海道表彰 奨励賞（1団体）

- ・推薦なし

受賞グループの詳細については、北海道読書推進運動協議会が発行している『北読進協だより』第37号に、受賞グループの寄稿文が掲載されています。『北読進協だより』は当館ホームページからご覧いただけます。

[道立図書館ホームページトップページ](#)>[図書館の方へ](#)>北海道読書推進運動協議会

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/relation/qji1ds0000000fvt.html>

（企画支援課）



2020・第74回読書週間ポスター
（公益社団法人読書推進運動協議会）

令和2年度(2020年度)下半期の事業一覧

	事業名	開催日	開催場所	概要	参加人数	備考
1	北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業	①令和2年 9月19日～ 令和2年11月 8日 ②令和2年11月21日～ 令和3年 1月17日 ③令和3年 2月27日～ 令和3年 4月 4日	札幌市 (北海道立近代美術館)	相互の利用者サービスの向上を図るため、道立近代美術館で開催する展覧会に連動し、特設コーナーを設けて道立図書館の蔵書を紹介する ①「神田日勝 大地への筆触 ～北海道立図書館の蔵書から」 ②「デビュー50周年記念 諸星大二郎展 ～北海道立図書館の蔵書から」 ③「猫まみれ展 MAX ～北海道立図書館の蔵書から」	-	
2	全道図書館新任職員研修会	令和2年10月 8日～ 令和2年10月 9日	札幌市 (札幌市教育文化会館)	道内の図書館等に勤務する職員を対象とした、新任職員向け研修	53名	
3	わかりやすい健康に関する情報講座	令和2年10月16日	北海道立図書館	江別保健所保健師による冬の感染症から身を守るための講演	21名	
4	アイヌ文化普及啓発事業 講演会「知里幸恵ノート」と『アイヌ神謡集』	令和2年10月18日	北海道立図書館	アイヌの物語「神謡」の特徴などにもふれながら、知里幸恵と「知里幸恵ノート」、『アイヌ神謡集』について紹介	18名	
5	全道図書館専門研修〈子ども読書(学校支援)〉	令和2年10月22日	北見市 (北見経済センター)	公共図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員等、学校図書館等向け研修	34名	テーマ:「活用・連携・実践! -学校図書館を深い学びの場に-」
6	講演会・資料で語る北海道の歴史(第21回)「江戸時代の輸出産品ロード -北海道発(長崎・沖縄経由)中国行-」	令和2年10月24日	北海道立図書館	江戸時代の海外への道産品の流通について、特にアイヌ民族による商品の生産・出荷等の過程に注目し紹介	19名	
7	令和2年度書庫ツアー ※新型コロナの影響により中止	令和2年11月11日	北海道立図書館	20世紀の映画の分野を中心に書庫で資料を紹介	-	
8	北海道図書館振興協議会第2回理事会・全道図書館長会議 ※新型コロナの影響により中止、理事会は書面開催に変更	令和2年11月20日	札幌市 (ホテルライフオート札幌)	北海道図書館振興協議会理事会、館長会議及び講話	-	
9	道議会図書室・道立図書館連携展示事業	①令和2年11月25日～ 令和3年 2月18日 ②令和3年 2月24日～ 令和3年 3月24日	札幌市 (北海道議会図書室)	当館と道議会図書室の資料を併せて展示 ①「感染症を知る」 ②「縄文遺跡群」	-	
10	全道図書館専門研修〈経営(企画・広報)〉 ※新型コロナの影響により中止	令和2年11月26日	岩見沢市 (岩見沢市生涯学習センターいわなび)	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員向け研修	-	
11	アイヌ文化普及啓発事業 利用講座「映像によみがえる北海道」 ※新型コロナの影響により中止	令和2年12月 5日	北海道立図書館	1982年の映像「静内川・アイヌのくらし」から、「伝統を受け継ぐ」ことの意味について考える	-	
12	全道図書館専門研修〈サービス(レファレンス)〉 ※Zoomによる開催に変更	令和2年12月10日～ 令和2年12月11日	札幌市(ACU) 北海道立図書館	公共図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員等、学校図書館等向け研修	46名	テーマ:「市民の暮らしの知りたい!」に応えるために図書館ができること
13	全道図書館専門研修〈サービス(資料保存)〉 ※新型コロナの影響により中止	令和3年 1月15日	札幌市 (北海道立道民活動センター)	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員向け研修	-	
14	第2回北海道図書館連絡会議、第61回(令和3年度)北海道図書館大会運営委員会(第1回) ※Zoomによる開催に変更	令和3年 1月22日	北海道立図書館	北海道図書館振興協議会、北海道地区大学図書館協議会、私立短期大学図書館協議会北海道地区協議会、北海道学校図書館協会、専門図書館協議会、北海道立図書館	8名	
15	第3回北海道図書館連絡会議、第61回(令和3年度)北海道図書館大会運営委員会(第2回) ※Zoomによる開催に変更	令和3年3月予定	北海道立図書館	北海道図書館振興協議会、北海道地区大学図書館協議会、私立短期大学図書館協議会北海道地区協議会、北海道学校図書館協会、専門図書館協議会、北海道立図書館	8名	

令和3年度（2021年度）事業計画

月	上 旬	中 旬	下 旬
4			大型えほん展示（下旬～5月上旬） 北図振 第1回理事会・総会（23日 札幌市） 子ども読書の日（23日） こどもの読書週間（4/23～5/12） 図書館記念日（30日）
5	北学図 定期総会 図書館振興の月		道民カレッジ連携講座 北方資料室書庫ツアー（29日） 北読進協 総会（札幌市）
6	北図振 全道図書館新任職員研修会（10～11日 当館） 道民カレッジ連携講座 子ども向け書庫ツアー	北日図連 総会・第1回理事会（青森県） 日図協 公共図書館部会総会（東京都）	第1回北海道図書館連絡会議 北日図連 北日本図書館大会（福島県） 全公図 定期総会（東京都）
7	北図振 全道図書館中堅職員研修会（8～9日 当館） 北図振 管内図書館振興協議会等地方研究集会（5～2月 各管内で開催）		道民カレッジ連携講座 利用講座（31日） 第1回北海道立図書館協議会
8			北図振 「北海道図書館関係職員録」発行
9	北図振 北海道図書館大会（8～9日 札幌市）		道立図書館まつり
10	道民カレッジ連携講座 講演会	わかりやすい健康に関する情報講座	道民カレッジ連携講座 講演会 北図振 全道図書館専門研修〈サービス（地域資料）〉（八雲町） 北図振「北海道の図書館-令和3年4月現在-」発行 読書週間（10/27～11/9） 文字・活字文化の日（27日）
11	道民カレッジ連携講座 書庫ツアー 北読進協 優良読書グループ表彰 図書館総合展	北図振 第2回理事会・全道図書館長会議（19日 札幌市） 日図協 全国図書館大会（11～12日 山梨県（オンライン））	第2回北海道立図書館協議会 第2回北海道図書館連絡会議 北図振 全道図書館専門研修〈経営（企画・広報）〉（名寄市） 日図協 全国公共図書館研究集会（児童青少年部門）・北日図連 北日本図書館連盟研究協議会（25～26日 盛岡市）
12	道民カレッジ連携講座 利用講座 北図振 全道図書館専門研修〈子ども読書（地域支援）〉（9～10日 当館） 北学図 青少年読書感想文全道コンクール及び北海道指定図書読書感想文コンクール表彰式（札幌市）	北日図連 北日本図書館地区別研修会（青森県）	
1	北学図 北海道学校図書館研修講座	北図振 全道図書館専門研修〈経営（関係法規）〉（14日 当館）	
2			北日図連 第2回理事会
3			第3回北海道立図書館協議会 第3回北海道図書館連絡会議

※ 上記の日程は変更になる場合があります。

<凡例>

- ・北図振・・・北海道図書館振興協議会 ・北日図連・・・北日本図書館連盟 ・北読進協・・・北海道読書推進運動協議会
- ・北学図・・・北海道学校図書館協会 ・日図協・・・日本図書館協会 ・全公図・・・全国公共図書館協議会

掲 示 板

〈 北海道立図書館情報システムが新しくなりました 〉

3月8日に北海道立図書館情報システムが稼働しました。

6年ぶりとなる今回の更新では、オンライン上でできる仮利用登録、貸出延長等の新機能が追加されました。

また、当館ホームページや北方資料デジタルライブラリー等のウェブコンテンツも大きくリニューアルし、さらに使いやすく便利に。詳しくは、当館ウェブサイトをご覧ください。

The screenshot shows the homepage of the Hokkaido Prefectural Library. At the top, there is a navigation bar with links for 'サイト内検索' (Site Search), 'English Guide', 'アクセス' (Access), 'お問い合わせ' (Contact Us), 'サイトマップ' (Site Map), and '提携サイト' (Partner Sites). Below this is the library's name and contact information: 'Hokkaido Prefectural Library 北海道立図書館', 〒069-0834 江別市文京台東町41, 電話: 011-386-8521, ファックス: 011-386-6906. There are icons for 'サービス案内' (Service Guide), '調べもの' (Research), '北方資料室' (Northern Materials Room), '道立図書館とは' (About the Library), and '道内図書館情報' (Library Information). A red banner reads '利用者の皆様へお願い' (Request to our users) dated 2020年12月18日 regarding COVID-19 prevention. The main content area is divided into three sections: 1. '蔵書をさがす' (Find books) with search options for '蔵書検索' and '北方資料デジタルライブラリー検索'. 2. '開館カレンダー' (Opening Calendar) for March 2021, showing a calendar grid with '休館' (Closed) on 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31. 3. '利用者ポータル' (User Portal) with links for 'ポータルログイン', 'ネット予約について' (About online reservations), '仮利用登録申込み' (Apply for temporary registration), and '新規パスワード登録' (Register new password). At the bottom, there is a '新着情報' (New Information) section with a 'PICK UP' banner for a DVD collection.

北海道立図書館報 第210号

令和3年(2021年)3月17日 発行

北海道立図書館長 岩 渕 隆

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL: 011-386-8521 (代 表)

ダイヤルイン

386-8531 (総務企画部)

386-8522 (一般資料室)

386-8523 (北方資料室)

FAX: 011-386-6906

E-mail: support@library.pref.hokkaido.jp

ホームページ: http://www.library.pref.hokkaido.jp